



全校みんなで楽しみました！！



縦割り遊びは、西小にとって大事な活動の一つです。全校児童が縦割り班に分かれて、異学年で同じ遊びを楽しむ、高学年生は下級生に丁寧に声をかけ、低学年生は高学年生の姿を真似しながら学ぶ、そこにはすでに「学び合い」の要素があります。



下級生を前にしたとき、高学年生には自覚が芽生えます。今回も中休みの時間を中心に、それぞれの班で場所を決めて、みんなで楽しめる活動を考えてくれました。体育館でドッジボールをする班、あやめホールで風船バレーをする班など赤白それぞれの縦割り班で楽しい時間を過ごしていました。雨のため、外で缶蹴りを計画した班もありましたが、そのグループは体育館でのドッジボールに変更となりました。上級生が下級生に優しく声をかけるシーンが多くみられ、嬉しく思いました。

甲斐源氏の足跡を訪ねて



6年生は10月に修学旅行に出かけます。メインは鎌倉市。2学期に入り、6年生はその鎌倉の学習に本格的に取り組んでいます。

先日は、文化財課の保阪さんに南アルプス市にある甲斐源氏のゆかりの地を紹介していただきました。

鎌倉にあるものと南アルプスにあるもので共通するものの紹介から話が始まりました。例えば、鎌倉の長谷寺（はせでら）には十一面観音像が有名ですが、南アルプス市にも十一面観音があるということでした。こちらは長谷寺（ちょうこくじ）です。鎌倉の鶴岡八幡宮で行われている流鏝馬、特に秋の例大祭の流鏝馬は、「小笠原流 流鏝馬」であることなどが紹介され、子どもたちも興味深く話を聴いていました。

その後は現地に行って、実際に様子を見せていただきました。最初に訪れたのは、若草の加賀美にある法善寺です。遠光公が住んでいた場所です。中には、大きな不動明王があります。子どもたちは、その大きさに圧倒されていたようです。

次に訪れたのは、古長禅寺です。甲西地区のこのお寺は、幼少期の武田信玄が母である大井夫人に伴われて、学んだとされる場所です。国の天然記念物である「ビャクシン」は、夢窓国師が植えたとされています。また、夢窓国師のつくった庭や国師の像も見どころとされていました。

最後に、秋山光朝公館跡を訪れました。秋山地区にある熊野神社にあたります。熊野神社の境内まであがるとだいぶ見晴らしがよいことがわかります。



今回の見学の中で、南アルプス市と鎌倉の関係をばっちり学ぶことができた6年生でした。